

くんちへの熱い思い本に

料理や装束など裏話紹介

「えんや！ 曳山が見た唐津」

唐津市出身で東京在住のフリージャーナリスト金丸弘美さん(50)が、唐津くんちの話をもとめた「えんや！ 曳山が見た唐津」を出版した。曳山、装束、道具、料理、露店にまつわるエピソードや裏話を紹介。唐津っ子のくんちへの熱い思いも伝わってくる。

地元出身の金丸さん



出版された「えんや！ 曳山が見た唐津」と筆者の金丸弘美さん

本紙「唐松特集」に、九九九年九月から二〇〇二年五月まで六十六回にわたり連載した「えんや！ 曳山が見てきた唐津」を加筆、再構成した。本は四六判の一八八ページ。肉襦袢やさい配、太鼓や笛、曳山の塗り替えや、家々で継承されてきたくんち料理、自慢の器、露店の仕切りまでを四十六話で紹介している。取材対象は六十人を超え、半纏や太鼓づくり、曳山の漆塗り替えなどでは県外取材も重ねた。露店の配置を仕切る人の苦勞談など、ガイドブックでは伝わらない裏話やエピソード、個人所蔵の懐かしい写真も掲載している。

したかった。祭りを陰で支える人たちなど、これまでスポットが当たらなかった人たちの物事も紹介できた」と金丸さん。

唐津市内の書店や観光施設などで販売。千六百円。発売元は秋田市の無明舎出版、電話018(832)5680へ。(小野)